

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652

## 滋賀銀行とのメールカー(郵送物等搬送車)の共同利用について ～「域内連携プラットフォーム」の第一弾取組事例～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、2021年12月1日（水）から、滋賀銀行とメールカー※（郵送物等搬送車）の共同利用を開始しますのでお知らせいたします。

当行は、京都信用金庫（理事長 榊田 隆之）、京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）、京都北都信用金庫（理事長 吉田 英都）、滋賀銀行（頭取 高橋 祥二郎）とともに、昨年6月に「域内連携プラットフォーム」を立ち上げ、各金融機関の共通課題に対する解決に向けて共同検討を行っております。

本件は、この枠組みにおける第一弾の取組みです。

今回の取組みでは、現在、各金融機関がそれぞれ警備輸送会社に委託し運行しているメールカーについて、当行と滋賀銀行が支店を構える一部のエリアにおいて共同で利用いたします。本取組みは、CO<sub>2</sub>排出量削減を通じてSDGsの実現に貢献するものです。

当行では、今後も、地元金融機関との連携の枠組みを生かし、経営資源の有効活用を図ることでお客さまに付加価値の高いサービスを提供するとともに、さらなる利便性向上とコンサルティング体制強化を実現してまいります。

※主に営業店・本部間において、お客さまからお預かりした手形や小切手、各種申込書等の社内郵送物を運搬する車

### 記

#### 1. 取組内容

金融機関では手形や小切手、書類等について本支店間授受が日常的に発生することから、各金融機関がそれぞれ警備輸送会社にメールカーの定期運行を委託しております。

このメールカーについて、当行と滋賀銀行が支店を構える一部のエリアにおいて共同利用を行うことで、運行台数を削減し、経営資源の有効活用に加えCO<sub>2</sub>排出量削減へと繋げてまいります。

#### 2. 開始日

2021年12月1日（水）

<ご参考>域内プラットフォーム概要

取組内容	運営協議会および分科会を設置し、域内の金融機関が非競争分野において緊密に連携・協力し課題解決を図るための検討・協議を行う。
参加金融機関	京滋地区に本店を置く次の地方銀行、信用金庫 ※五十音順に記載 京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都北都信用金庫、滋賀銀行

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

